

5月8日 ヨハネによる福音書13章31～35節 今日の説教から

説教題：「私たちに与えられた新しい掟」

今日の聖書箇所は、最後の晩餐の中でユダの裏切りを指摘した後の出来事です。イエス様はこの後起きる全ての出来事をかみしめながら、「栄光を受けた」と言います。ユダヤ人たちに捕まり、裁判を受け、むちで打たれて嘲笑されるその受難を、そして十字架にかかり死ぬ未来を理解してなお、イエス様はそれを「栄光」と呼びました。自分の命を失うことを理解していながら、それでも神様の御心に従うことは、そして私たち人間を救いへと導くことは、イエス様にとって間違いなく「栄光」だったのです。

それがすぐに起きることを弟子たちに伝えて、自分はもう弟子たちと共に伝道の旅を続けることが出来ないからこそ、最後に弟子たちに大切な言葉を残します。それが、弟子たちに向けて、また私たちに向けて与えられた新しい掟である、「互いに愛し合いなさい」という言葉です。ただ、「互いに愛する」という掟自体は目新しいものではありません。ユダヤ教の文化の中でも律法の中で、様々な形で語られています。イエス様自身、この要旨の裏面に記してあるマルコによる福音書12章で旧約聖書の掟を総合する言葉として、「あなたの神である主を愛しなさい」「隣人を自分のように愛しなさい」と語っています。十戒を要約するこの掟は、間違いなく互いに愛することを命じているものです。

では、イエス様の掟の新しさとは、どこにあるのでしょうか。旧約聖書の中で隣人とは、同じイスラエルの民であると理解されました。異邦人や罪人に対しては愛を示す必要はなく、信仰深いイスラエルの民を愛せばよい、と理解されたのです。イエス様はその理解に対して「否」を突きつけました。私たちの愛の行いは同じ信仰者だけを愛せばよいではありません。その愛は、イエス様の大宣教命令によってはるかに広い範囲へと向かって行きます。マタイによる福音書28章に記されている「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」という言葉によって、私たちにとっての隣人は同じクリスチャンだけではなく、同じ土地に暮らす隣近所の人々だけではなく、私たちがまだ出会ったことのないあらゆる人々へと広がってゆくのです。そのすべての人々が神様に愛された人々であり、私たちが「互いに愛しなさい」と命じられている人々なのです。

いま、私たちには新しい掟が与えられています。自分を第一に考え、自分を大切にすることが当たり前だったかつての掟ではなく、私たちの隣人と互いに愛し合う事を、そして出会ったことのない遠く離れた人々とも互いに愛し合う、その「新しい掟」に従う事が求められています。イエス様の言葉と十字架によって私たちは、目に見える範囲の友人だけではなく、見ず知らずの人々すらも神様に愛されている隣人であることを教えられています。だからこそ、私たちは神様の愛をこの世界に実現する者となる事が出来るのです。

その愛の業を神様から期待されている喜びを胸に、今週一週間の、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：ヨハネによる福音書 13章 31～35節

- 31:さて、ユダが出て行くと、イエスは言われた。「今や、人の子は栄光を受けた。神も人の子によって栄光をお受けになった。神が人の子によって栄光をお受けになったのであれば、神も御自身によって人の子に栄光をお与えになる。しかも、すぐにお与えになる。子たちよ、いましばらく、わたしはあなたがたと共にいる。あなたがたはわたしを捜すだろう。『わたしが行く所にあなたたちは来ることができない』とユダヤ人たちに言ったように、今、あなたがたにも同じことを言うておく。あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」

マルコによる福音書 12章 28～34節

- 28: 彼らの議論を聞いていた一人の律法学者が進み出、イエスが立派にお答えになったのを見て、尋ねた。「あらゆる掟のうちで、どれが第一でしょうか。」イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」律法学者はイエスに言った。「先生、おっしゃるとおりです。『神は唯一である。ほかに神はない』とおっしゃったのは、本当です。そして、『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する』ということは、どんな焼き尽くす献げ物やいけにえよりも優れています。」イエスは律法学者が適切な答えをしたのを見て、「あなたは、神の国から遠くない」と言われた。もはや、あえて質問する者はなかった。